

解答範囲は、解答番号  から  までです。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

←  
←  
←

【引用部分は削除しています】

←  
←  
←

(注) ○今村夏子『日本の小説家、一九八〇』。○自閉スペクトラム症『発達障害のひとつで、主に社会的なコミュニケーションの困難さや空間・人・特定の行動に対する強いこだわりがある等、多種多様な障害特性が見られる。』

(阿部公彦『事務に踊る人々』による)

英語

日本史

世界史

政治・経済

数(文系型)  
学

数(理系型)  
学

物理

化学

生物

正解・正解例  
講評

国語

問一 傍線部⑦～⑩にあたる漢字を、次の各群のうちから一つずつ選びなさい。

解答番号 1 4

⑦ 削 除	⑧ ヒシヨウ	⑨ ジシヨウ
3	1 ① 非	2 ① 象
4	4 ③ 秘	3 ② 卑
5	被	4 ④ 性
⑩ ソツウ	① 祖	② 傷
4	4 ④ 疎	3 ③ 訴
5	2 ② 組	4 ① 祖

問二 傍線部①「偉業や創造よりもミスばかりが取り沙汰される」の理由として、明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 5

- ① 注意できているか否かを重視するような、事務をモデルとした思考法が、今や社会のさまざまな場面に浸透しているから。
- ② 現代社会では、細かなミスや見落としのあるなが、規模の大きな失敗や未曾有の災害などを引き起こしかねないから。
- ③ 人間のあり方や活動を評価するための多様な観点が、今では、注意／不注意という対立軸に一元化される傾向にあるから。
- ④ 書類整理のモデルが優勢な現代では、注意すべき事柄については、誰もがアクセス可能な仕方でも文化化されているから。

問三 傍線部②「近代とは奇妙な時代だ」とありますが、筆者がそう考える理由として、最も適切なものを一つ選びなさい。

解答番号 6

- ① 近代社会は個人の思想や欲求を優先させると同時に、各々が個性を放棄するような制度をも構築してきたから。
- ② 近代社会は個人の価値観や好みを尊重するだけでなく、様々な他者への配慮やケアも求めてくるから。
- ③ 近代社会は個人の欲求や好みを保護するために、より安定した事務的な枠組みにこれを組み入れたから。
- ④ 近代社会は個人の希望を重視するという名目で、逆に特定の個人を排除するしくみを作り上げたから。

問四 空欄 A ～ D のいずれかに次の括弧内の一文が入ります。挿入すべき位置として、最も適切なものを一つ選びなさい。

解答番号 7

- 「事務には避難所としての機能がある。」
- ① A ② B ③ C ④ D

問五 空欄 X を補うのに最も適切なものを一つ選びなさい。

解答番号 8

- ① 幻想的で、何かなつかしく
- ② 水気にあふれ、やわらかく
- ③ はじけるほどに、若々しく
- ④ 奥ゆかしくも、せわしなく

問六 傍線部③「この『弟の墓』を見て、母親が受ける意味は、あみ子の頭にあつたものとはまったく違うものである」の説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

解答番号 9

- ① 血のつながらない母と少しでも仲良くなりたいと、弟の墓を作って気を引こうとしたあみ子だが、当の母は弟だけでなく、自分の尊厳をも傷つけられるような思いがした。
- ② 母をなぐさめようと、自分の好きだった金魚やカブトムシの埋まった隣に弟の墓を作ったあみ子だったが、つらい過去を思い出した母は、ますます落ち込んでしまった。
- ③ 手先の器用さをほめられるものと考えたあみ子だが、たいして出来のよくない手作りの墓を実の子のそれと見せつけられた母は、怒りを抑えるのに必死であった。
- ④ あみ子は自作の弟の墓に対する、母の好意的な反応を期待したが、実の子の死という重々しい事実が小動物の死と同列に扱われたことで、母は呆然としてしまった。

問七 傍線部④「注意の視線を成り立たせる力学や磁場」の指す内容として最も適切なものを、二重傍線部 a ～ d から一つ選びなさい。

解答番号 10

- ① a 貴重な行動原理
- ② b 世界の肌触り
- ③ c 出来事の意味
- ④ d 配慮や共感

問八 傍線部⑤「共同注意 (Joint attention)」と呼ばれる注意の使い方」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 11

- ① 相手の指そのものではなく、その指の指す方向を確認することで、相手が何にどう気をつけているかという注目ポイントを理解するような手法。
- ② 相互に配慮し、共感のセンサーを働かせることで、指を指し示すという何気ない行為であっても、互いが意図することを正確に予測するような手法。
- ③ 相手の指さす方向を見る、という行為を介してそれとなく注目すべき内容を共有することで、ケアや配慮の力加減を無理なく習得するような手法。
- ④ 注意の強弱に関係なく、何に気をつけたらよいかを指示し合うことで、社会の多数派が巡回しに求める気遣いのポイントを確認するような手法。

問九 この文章の内容に明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 12

- ① 事務処理という言葉には、人を介さず機械的に物事に対処するというイメージがあるが、そうした処理で重要となる「注意の規範」を支えているのは、結局のところ、社会の多数派を占める人々の存在に他ならない。
- ② 「こちらあみ子」が教えてくれるのは、同じ世界を見ている、これをどう感じ、どう認識するかは受け取る側によって異なるということで、この点で特にあみ子は、周囲の人々と意見が対立することが少なくない。
- ③ 二〇世紀以降、コミュニケーションに問題を抱える人々の症例に注目が集まるようになったことは、事務仕事に象徴されるような、共通した配慮や注意などを求める社会のしくみが強まったことと深く関係がある。
- ④ 近代社会は、他人への気遣いや心配りを求める制度を作り出すことで社会的弱者の保護を図ってきたが、それはまた、気遣いや心配り自体が不得手な人々の排除を促してしまうという、皮肉な結果をも生み出した。

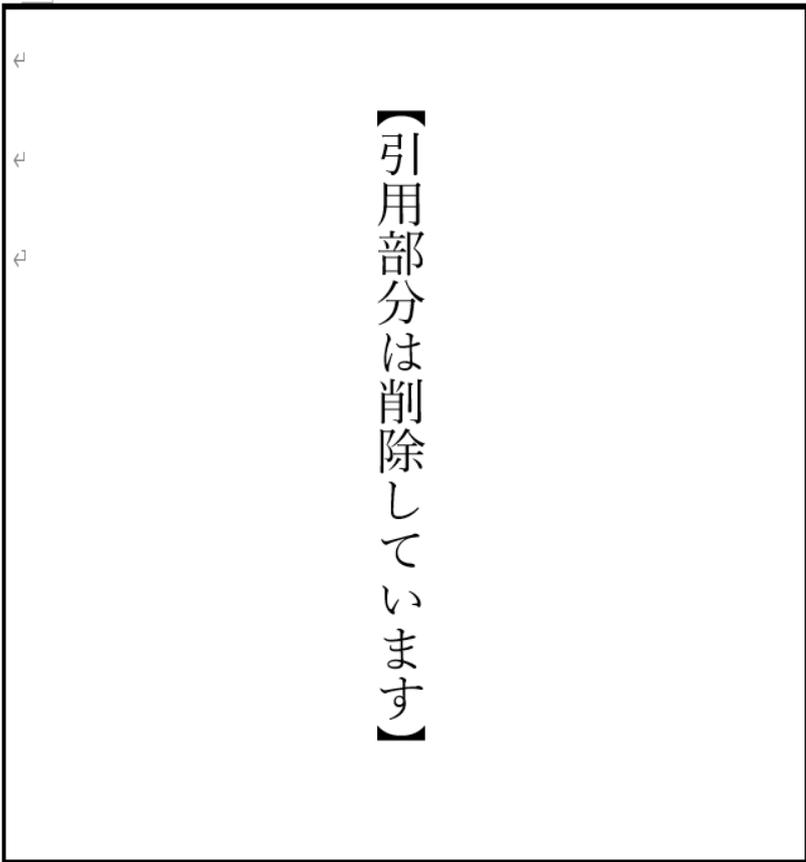
(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

←  
←  
←

英語	日本史	世界史	政治・経済	数学 (文系型)	数学 (理系型)	物理	化学	生物	正解・正解例 講評	国語
----	-----	-----	-------	----------	----------	----	----	----	-----------	----

【引用部分は削除しています】



(まじ・みちお「遠近法の詩」による)

(注) ○鍾馗Ⅱ中国の民間伝承に伝わる道教系の神。○シュールレアリスムⅡ第一次大戦後にフランスで起きた芸術運動で、日本語では「超現実主義」と訳される。目に見える出来事ではなく、夢や無意識、偶然といった人の意識ではコントロールできない領域を表現することを目的とした。

問一 傍線部①「恐いもの見たさ」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 13

- ① 薬品の外箱に描かれた鍾馗に神としての威厳を感じて、圧倒されるような気持ちを抱きながらも、どうしても惹きつけられてしまうこと。
- ② 髯もじゃで鬼のような風貌をした鍾馗の絵を見て、恐ろしいとは思いつつも、もつと見たいという好奇心を抑えられなくなる。
- ③ 鍾馗が手にもつ小さな薬品箱にも鍾馗が描かれているという無限の連鎖に恐ろしさを感じながらも、もつと近寄って見たいと思うこと。
- ④ 店の人に叱られるのではないかと、恐れを感じながらも、小さな鍾馗が無限に続いているのかどうかを目で見て確かめたくなること。

問二 空欄 X にあてはまる語句として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① 能力
- ② 才覚
- ③ 見識
- ④ 洞察

問三 空欄 A と B を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① A 弾ませる B ほんやり
- ② A 殺す B ほんやり
- ③ A 弾ませる B ありあり
- ④ A 殺す B ありあり

問四 傍線部②「遠近法の詩」という言葉で筆者が表そうとしているものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 筆者が幼い日に見た、微細な部分まで描き込まれた鍾馗の絵に見られるような、誰の心にも響く芸術作品の詩的な完成度の高さ。
- ② ポール・デルボアや堀内正和の芸術作品のような、長い年月を経て確かな傑作と認められてきたものだけが持つ詩的なたずまい。
- ③ 私たちの目には遠いものが小さく見えるという物理的な遠近法の法則と同じような、人生のすべてを支配している詩的な法則。
- ④ 夕焼の中で地平線へ向かって並ぶ電信柱の列を見た時に感じるような、無限というものにつながっている芸術活動の詩的な根源。

問五 空欄 Y を補うのに最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① 手で触られるほど近くにあるのに、決して届かないもの
- ② 肉眼でやっと見えるくらい小さなもの、かすかなもの
- ③ あまりの美しさ、鮮やかさに目を奪われてしまうようなもの
- ④ 輪郭がいまいで、ぼろっと消えてしまいうようなもの

問六 傍線部③「『動的な』遠近法」と傍線部④「『静的な』遠近法」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① 受精した胚が胎児に成長するまでに進化的過程を繰り返して再現する際の記憶に基づく遠近法と、生まれてから後に始まる人生経験の中で体得する遠近法。
② 人間が人間になる前に体験していた他の動物たちとの生存競争から生まれる激しい感情を伴う遠近法と、人間としての生活が確立されて以降の穏やかな遠近法。
③ 瀕死の自分から遠ざかっていく肉親の後姿を見た際に感じるような生死に関わる遠近法と、もと来た道を風景として振り返る際に感じるような静かな遠近法。
④ 逃げ場を失った自分に向かってくる敵の顔を見る際のような恐怖の遠近法と、そこから離れた際に、遠ざかる敵の姿を見ながら感じるような歓喜の遠近法。

問七 傍線部⑤「『痺れていた』時の感じ」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 19

- ① 見えないものが無限に続くことで、空間と時間の区別が消えてしまうような不思議な感覚
② ふだんは目にするのがないものが、日常生活の中に立ち現れた際の驚きに満ちた感覚
③ 無限の彼方からこちらに向かって来たものが、自分を貫いて行ったような衝撃的な感覚
④ 自分の視界いっぱい広がる風景の静けさが、肌触りのように迫ってくる心地よい感覚

問八 この文章の内容に明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 20

- ① 筆者は、私たちが蛇を恐がるのは恐龍とともに暮らした人間の先祖が受けた恐怖感の痕跡であるという説等から、遠近法に関する不思議な感覚も遠い過去の先祖から受け継いだものだと考えている。
② 筆者は、幼年期に鍾馗の絵が無限に続いているのを見たことよって感じた痺れるような美的感覚は、視覚的な体験としてだけではなく、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のすべてで生じるものだと考えている。
③ 筆者は、ポール・デルボアや堀内正和の遠近法的な作品は、人間が人間になる前の時代の記憶が子どもための詩としてよみがえり、その後それぞれの芸術作品として花開いたものだと考えている。
④ 筆者は、芸術活動の源は人間が普遍的に持っている遠近法に痺れるような感覚に基づいているから、子どものための詩を作る際にも、大人の詩を作る際と同じ気持ちで臨まなければならないと考えている。

(二) 左の文章は、鎌倉時代の評論『愚管抄』の一節で、平安時代の貴族である藤原頼長(左府)と、その父の忠実(父の殿、兄の忠通(法性寺殿)にまつわる話を記しています。これを読んで、後の問いに答えなさい。

頼長の公、日本第一の大学生、和漢の才に富みて、腹悪しく、よろづにきはどき人なりけるが、父の殿に最愛なりけり。一日撰録内覧を経ばやとあまりに申されけるを、一日経させばやと思して、子の法性寺殿に、「さもあらむや、後には汝が子孫にこそ返さむすれ」と、たびたびねんころに申されけるを、法性寺殿のともかくもその御返事を申されざりければ、後には安からず思して、鳥羽院にこの由を申して、「叶へ叶はずは次のことにて、存じ候はむやう、返り事の聞きたく候ふ。上より仰せたまて申し状を聞かせられ候へ」と申されければ、この由仰せられたりける御返事に、存じ候ふ旨はとて、「手のきは、頼長が御心ばへは、しかじか候ふなり。彼、君の御後ろ見になり候ひては、天下の損じ候ひぬべし。このやうを申し候はば、いよいよ腹立し候はば、不孝にも候ふべし。父の申し候へばとて承諾し候はば、世のため思になり候ひぬべし。仰天して候ふ」など申されたりけるを遣はされたりければ、「かくも返事はありけるは、など我が言ふには返事だになき」とて、いよいよ深く思いつつ、藤氏長者は君のしろしめさぬことなりとて、久安六年九月二十五日に藤氏長者を取り返して、(中略)左府に朱器台盤わたされにけり。さて院をとかくすかしまらせられけるほどに、みそかに上卿など催して、久安七年正月に、内覧は並びたる例もあればにて、内覧の言旨ばかり下されにけり。あさましきことかなと、一天のあやしみになりぬ。(中略)

さて近衛院、位にておはしにけるに、(中略)節会ことに主上御帳に出おはしませ給ひけるも、聞かせおはしませ。また関白「我が科になり候ひなむす」と返す返す申されけるを、聞かせ給はぬことにてありければ、「なほこれは関白が事」と思召して、御気色悪しかりけり。されど法性寺殿は、少しもこれを思ひいたる気もなく、(中略)出仕うちしておはしけり。その後、内裏にて再び悪しく行き合はれたれば、左府は昔のごとく家礼して生ひ立ちける兄なれば、なほ掛られけり。昔は法性寺殿の子にしておはしければ、さやうのご思ひ出でられける。あはれなりと、人言ひけり。父の殿は、「いかに」とありけれど、「礼はとりかへさず」と「礼記」の文なり。仲悪しとて、いかでか掛ざらむ」と言はれるをば、時の人ののしりけり。

かやうにて過ぐるほどに、この左府、「悪左府」といふ名を天下の諸人につけたりければ、①そのしるし、明け暮れのことにてありけるに、法勝寺御幸に実衡中納言が車破り、また院第一の寵人家成中納言が家追捕したりければ、院の御心に疎み思召しにけり。「院の殿は、まことによく言ひけるものを」と思召しなごら、さて過ぎけり。人の物語りに申しは、中納言実衡が車破りたることを、父の殿、「いかにさることは」と言はれけるついでに、「かく悪しくとも、家成などをばえせじもの」と、腹の立たれるに言はれたりけるを聞きはさみて、親にもかく思はれたる安からずとて、(中略)追捕はしたりけるなり。

(注) (慈円「愚管抄」による)

(注) ○よろづにきはどき人万事に極端な人。○撰録内覧「撰録」は摂政・関白の異称。「内覧」は天皇に奏上する文書を事前に見る職で、通常は摂政・関白が務めた。○後には汝が子孫にこそ返さむすれその後、お前の子孫に摂政職を返すだろから。当時は法性寺殿が摂政の任にあった。○藤氏長者は藤原氏の首長の地位。当時は法性寺殿がその地位にあった。○久安六年「一一五〇年」。○鳥羽院「平安時代の上皇。一一二九、一一五六年に院政を行った。後出の「院」もこれと同じ。○藤氏長者が代々伝えた宝器。○上卿「臨時に選んだ、宮中の政務や儀式を指揮する上位の公卿」。○内覧は並びたる例もあればにて過去に内覧が二人いた例もあるからといって。○近衛院「平安時代の天皇。後出の「主上」もこれと同じ。○御帳「天皇の御座所」。○遺例「病氣」。○関白「法性寺殿のこと。○思召して「主語は鳥羽院。○昔のごとく……なほ掛られけり」。昔は親に仕えるように礼を尽くして育ててもらった兄なので、やはり会釈をなされた。○昔は法性寺殿の子にしておはしければ昔頼長は法性寺殿の養子でいらっしやうだったので。○礼はとりかへさずと「礼記」の文なり。「礼は、こちらから尽くしても相手に強要するものではない」と中国の古典「礼記」に出ている。○法勝寺「現在の京都市左京区岡崎にあった寺。○実衡中納言「藤原実衡。平安時代の貴族。○家成中納言が家追捕

したりければ＝藤原家成邸に役人を派遣して、従者を捕らえたので。家成は平安時代の貴族。

問一 波線部 a「申される」、b「思して」、c「申される」の主語の組み合わせとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 21

- ① a 頼長                    b 頼長                    c 父の殿
- ② a 頼長                    b 父の殿                c 父の殿
- ③ a 父の殿                b 頼長                    c 頼長
- ④ a 父の殿                b 父の殿                c 頼長

問二 傍線部①「ありなむや」の文法的説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 22

- ① ラ行変格活用動詞「あり」の連用形+強意の助動詞「ぬ」の未然形+意志の助動詞「む」の終止形+疑問の終助詞「や」
- ② ラ行変格活用動詞「あり」の連用形+強意の助動詞「ぬ」の未然形+推量の助動詞「む」の終止形+疑問の終助詞「や」
- ③ ラ行変格活用動詞「あり」の連用形+願望の終助詞「なむ」+疑問の終助詞「や」
- ④ ラ行変格活用動詞「あり」の連用形+強意の係助詞「なむ」+疑問の終助詞「や」

問三 傍線部②「かくも返事はありけるは」とありますが、法性寺殿の返事の内容として、明らかにふさわしくないものを一つ選びなさい。

解答番号 23

- ① 頼長の政治的手腕や性格を考えると、彼を摂政に就任させるのは不適当だということ。
- ② 頼長が摂政として天皇を補佐するようになれば、天下の平安は失われてしまうということ。
- ③ 自分が頼長の摂政就任に反対すれば、頼長が激怒し、鳥羽院に迷惑をかけてしまうということ。
- ④ 自分が頼長の摂政就任を認めれば、自分は鳥羽院や天皇に対して不忠の臣になってしまうということ。

問四 傍線部③「院をとかくすかしまゐらせられるほどに」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 24

- ① 鳥羽院をとにかくあわてさせ、急がせなさっている間に
- ② 鳥羽院をこっそり見張り、様子をうかがいなさっていたので
- ③ 鳥羽院を色々なだめ、ご機嫌を取り申し上げている間に
- ④ 鳥羽院を何かにつけて侮って、軽んじ申し上げていたのだ

問五 傍線部④「そのしるし、明け暮れのことにてありけるに」とは、どのようなことですか。その説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 25

- ① 頼長は、人々から「悪左府」とあだ名をつけられるほどに、日常的に荒々しい振る舞いをしていたということ。
- ② 頼長は、人々から「悪左府」とあだ名をつけられて批判されても、一日たてば忘れてしまったということ。
- ③ 人々が頼長に「悪左府」というあだ名をつけて以降、次第に頼長の振る舞いが荒々しくなっていたということ。
- ④ 人々が頼長に「悪左府」というあだ名をつけると、貴族たちも公然と「悪左府」と呼ぶようになったということ。

問六 傍線部⑤「かく悪しくとも、家成などをばえせしものを」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 26

- ① 相手がどんな乱暴を働いても、私が鳥羽院の寵臣の家成などの味方になることはないだろうに。
- ② 頼長がどんな乱暴を働いても、鳥羽院の寵臣の家成などであれば仕返しをしこないだろうに。
- ③ 相手がどんなに乱暴者でも、鳥羽院の寵臣の家成などであれば頼長は決して逆らえないだろうに。
- ④ 頼長がどんなに乱暴者でも、鳥羽院の寵臣の家成などにはこのような乱暴はできないだろうに。

問七 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 27

- ① 鳥羽院は、法性寺殿に対して、頼長の摂政就任の願いを叶えるのか叶えないのか、それだけでも返事をするよう命じた。
- ② 法性寺殿は、近衛院が部屋に引きこもってばかりで病気になるってしまったのは自分のせいだと思い、悩んでいた。
- ③ 父の殿は、頼長が内裏で法性寺殿に会釈をしたとき、兄弟の仲が悪いにもかかわらず礼を尽くしたことを褒めたたえた。
- ④ 鳥羽院は、貴族たちに対する頼長の乱暴な振る舞いを見て、「法性寺殿による頼長の評価は実に適切だ」と思っていた。

問八 「愚習抄」が成立した鎌倉時代より前の時代の人物として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 28

- ① 阿仏尼                    ② 藤原道綱母
- ③ 世阿弥                    ④ 兼好法師